

静岡県月例経済報告

(令和6年1月号)

……令和5年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 573

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	6
・ 需要面	6
・ 生産面	14
・ 雇用面	16
・ その他	19
III 静岡県主要産業の動向	23
IV データからみた県内主要産業	26

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和5年11月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、物価高騰や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が2か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが8か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店が4か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが13か月連続、ドラッグストアが31か月連続、ホームセンターが4か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも23か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、軽自動車が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が15か月連続で前年実績を上回った。総数は前年実績と同水準となった。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、持家が10か月連続、貸家が2か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(11月)は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(12月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（11月）は、5か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(11月)は、自動車¹が11か月連続、自動車の部分品が5か月連続、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機が2か月連続、エアコンが6か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

また、輸入総額(11月)は、紙類及び同製品が2か月ぶり、自動車の部分品が8か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が6か月連続、木材が12か月連続、パルプ、原動機がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも8か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,154億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数(11月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品が13か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が5か月ぶり、輸送機械が9か月連続、化学、食料品・たばこがいずれも2か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は3か月ぶりに減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では2か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる」

有効求人倍率(11月)は1.21倍となり、前月を0.01ポイント上回った。全国値を0.07ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(11月)は、8か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(10月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(11月)は、前年同月比 0.6%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(11月)は、前年同月比 6.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(12月)は、件数は19件（前年同月比 5.5%増）と前年実績を上回り、負債総額は2,062百万円（同 26.6%減）と前年実績を下回った。

<トピックス>



前売入場券好評発売中

浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

電子チケットの
購入はこちらから

アソビュー!



Webket®



前売入場券 販売場所

コンビニ(セブンイレブン、ファミリー
マート、ローソン、ミニストップ)、浜名湖
ガーデンパーク、はままつフラワーパーク
正面ゲート窓口 など

チケット購入方法
取扱い店舗詳細は
こちら



主催 [浜名湖花博20周年記念事業実行委員会] 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階)

<トピックス>

自治体、森林・林業関係者、金融機関、民間コンサル、クレジットの購入を希望する企業の皆様へ

**森林由来の
J-クレジット
活用に向けた
交流会**

定員
300名
入場無料

令和6年
2/21水
13:00 ▶ 17:00
(開場11:00)

お申込みはこちらから

申込期限
2/16日まで

(公社)静岡県山林協会 令和4年度 しずおか森林写真コンクール入賞作品

セミナー会場 13:00 ▶ 15:00
アゴラ静岡 8階 ユーフォニア



13:00▶ **主催者挨拶**

13:05▶13:20 ●GX実現に向けた基本方針と国の動向等について

経済産業省 関東経済産業局
資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進課 岡本 将悟

13:20▶13:50 **特別講演** ●J-クレジット制度における
森林管理プロジェクト

元J-クレジット制度運営委員会委員
元日本大学教授 丸山 温

14:00▶14:20 ●地域を牽引する稲梓県営林モデルの取組

静岡県経済産業部
森林・林業局森林計画課 吉永 章人

14:20▶14:30 ●環境と経済の両立
～デジタル地域通貨を活用した御殿場型モデルの取組～

御殿場市企画戦略部企画課 土屋 翔

14:30▶14:40 ●林業から森林業へ ～森林に新たな価値を～

有限会社天電フォレスター 水野 佑紀

14:40▶14:50 ●J-クレジットを通じた地域共生・共創・
循環モデルの構築

静岡経営コンサルティング株式会社 堀 慶彦
瀬辺林業株式会社 渡辺 元嗣

交流会場 11:00 ▶ 17:00
アゴラ静岡 7階 会議室 ●参加団体、企業等によるプロモーションブース

主催・お問い合わせ 静岡県経済産業部森林・林業局森林計画課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

☎054-221-2613 ✉shinrinkeikaku@pref.shizuoka.lg.jp

協力:(公社)静岡県山林協会 静岡県森林認証推進協議会 流域林業活性化センター

後援:静岡新聞社・静岡放送 (公社)静岡県林業会議所



<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和6年1月23日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 69	件 472	建設業37.3%、卸小売業18.4%、製造業14.8%、運輸業5.1%、飲食業3.2%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 822	件 4,524	建設業24.9%、卸小売業22.3%、製造業22.3%、飲食業6.8%、運輸業4.2%、宿泊・旅行業0.8%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 7	件 23	製造業65.2%、建設業13.0%等
計		億円 12,818	件 76,562	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・漁	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4	▲0.7	▲24.6	▲18.3
建設業	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2	▲16.9	1.1	16.5
製造業	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8	▲15.0	▲12.8	▲10.4
卸売・小売業	▲2.1	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6	24.1	▲10.4	▲35.2
金融、保険 不動産業	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9	▲17.3	5.3	17.9
運輸業	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7	▲1.9	▲5.7	14.9
情報通信業	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5	18.3	1.9	21.8
飲食、宿泊 サービス業他	4.0	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6	▲3.8	▲12.5	3.3
県全体	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4	▲1.4	▲4.8	▲4.9

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・漁・鉱業	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1	4	5	2	2	2	8	6	7	2	1	2
製造業	4	6	4	3	3	2	5	2	4	6	2	8
卸売・小売業	4	4	8	4	3	4	5	2	6	2	9	5
金融、保険 不動産業	3	1	1	0	2	0	2	0	3	0	1	0
運輸業	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
情報通信業	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	3	2	10	2	6	7	4	5	8	4	4	3
県全体	19	19	30	11	17	15	24	15	31	17	19	19
うちコロナ 関連倒産	8	3	11	8	2	9	5	4	5	4	6	10

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 37,605百万円

*前年同月比： 0.9%増

(県内3百貨店、159スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は37,605百万円で、前年同月比 0.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.4%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 1.6%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 3.1%増）が3か月ぶり、飲食料品（同 0.6%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、身の回り品（同 11.9%減）が3か月連続、家庭用品（同 3.5%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.4%増と、17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	35,630	37,198	36,227	38,847	37,948	35,452	37,583	37,605
前年同月比(%)	2.7	0.1	0.9	3.3	1.9	0.3	▲0.2	0.9
うち百貨店(%)	4.4	▲0.2	▲0.2	4.1	8.0	0.2	▲7.0	▲2.4
スーパー(%)	2.4	0.2	1.0	3.2	1.0	0.3	1.1	1.6
(参考1)全国前年同月比(%)	4.8	3.4	4.1	5.5	6.0	4.5	3.7	4.4
うち百貨店(%)	8.9	6.6	7.2	8.8	12.0	9.4	6.3	7.7
スーパー(%)	3.4	2.3	2.9	4.3	4.2	2.8	2.8	3.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	3.0	2.0	2.4	4.9	4.1	2.5	2.2	3.4

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	5.3	▲0.4	1.1	9.8	0.2	▲3.7	▲3.7	3.1
うち紳士服・洋品	10.0	4.5	4.3	14.4	8.4	▲0.5	2.7	13.2
婦人・子供服・洋品	5.2	▲0.7	1.0	9.5	▲1.6	▲3.5	▲5.1	▲0.3
身の回り品	11.8	7.1	▲1.7	7.7	23.3	▲6.2	▲18.3	▲11.9
飲食料品	2.4	0.2	0.3	2.2	1.0	0.5	0.8	0.6
家庭用品	▲8.2	▲10.5	2.1	▲2.0	▲6.5	▲5.2	▲5.0	▲3.5
うち家庭用電気機械器具	▲11.7	▲19.6	5.2	▲5.2	▲6.7	▲6.0	▲8.5	7.0

(注) 店舗数調整済、全月速報値

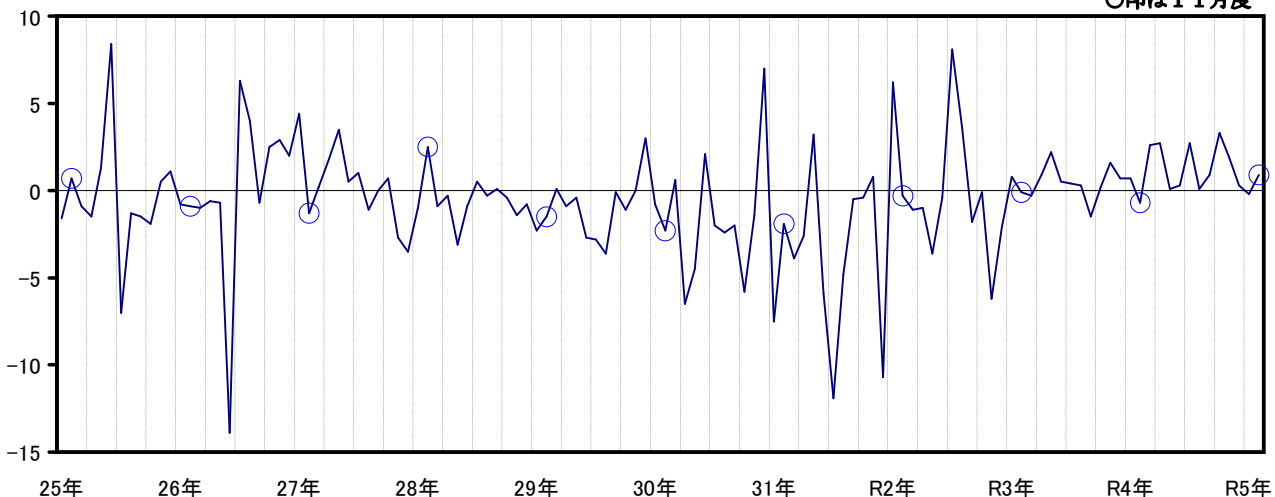
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は11月度



(2) 専門量販店等販売額

11月 = 74,993百万円

*前年同月比：3.2%増

(県内94家電大型専門店、1,662コンビニエンスストア、600ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は74,993百万円で、前年同月比3.2%増となり、23か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比1.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同0.6%増）が13か月連続、ドラッグストア（同6.7%増）が31か月連続、ホームセンター（同5.8%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	75,121	76,578	75,162	84,147	80,673	76,136	77,087	74,993
前年同月比（%）	5.2	2.9	2.0	5.4	2.0	2.9	2.5	3.2
うち 家電大型専門店（%）	▲4.8	▲4.3	▲7.8	1.5	▲2.8	▲3.4	▲10.2	▲1.7
コンビニエンスストア（%）	3.9	2.5	0.8	3.4	1.3	0.6	0.7	0.6
ドラッグストア（%）	10.8	8.8	8.2	9.3	5.6	9.0	10.0	6.7
ホームセンター（%）	2.3	▲6.0	▲2.7	4.3	▲3.1	▲2.2	▲3.2	5.8
(参考)全国前年同月比（%）	4.2	3.8	2.9	6.5	5.7	4.5	3.2	3.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

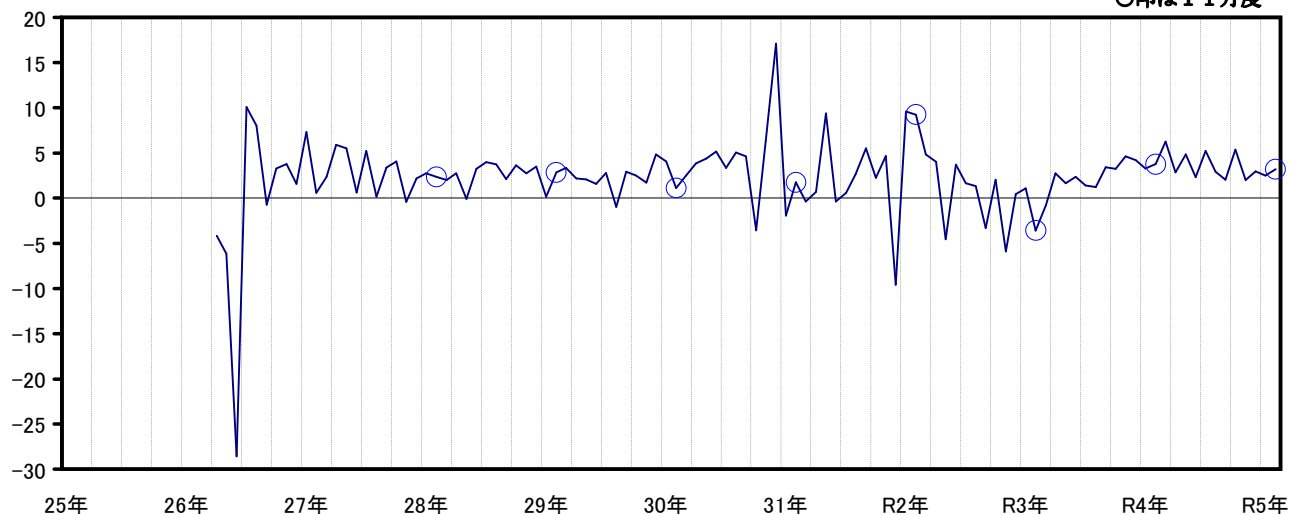
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は11月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

11月 = 14,028 台

*前年同月比： 0.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は14,028台で、前年同月と同水準となった。車種別にみると、軽自動車(同6.9%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車(同7.2%増)が15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	11,913	11,291	13,003	12,119	11,120	14,721	13,569	14,028
前年同月比(%)	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	18.5	28.4	23.9	11.4	19.8	11.8	13.1	11.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

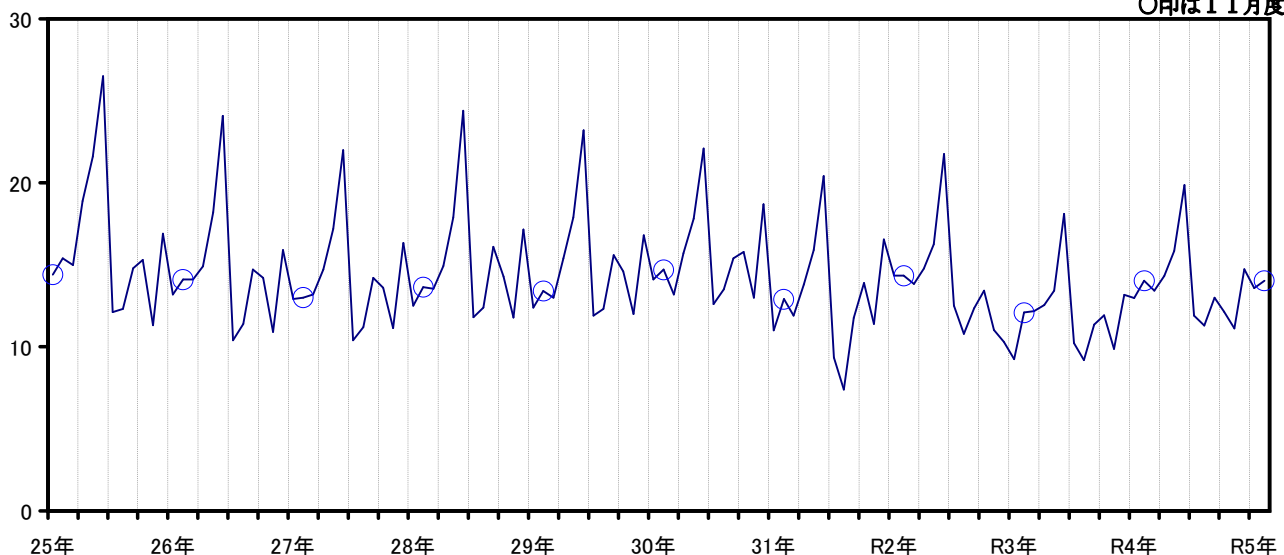
	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7	4.5	0.0
乗用車	30.8	35.0	24.4	16.8	12.9	10.6	4.2	7.2
軽自動車	4.0	11.5	4.5	▲14.2	12.3	12.9	4.8	▲6.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は11月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,452 戸

*前年同月比： 13.8%減

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,452戸で、前年同月比 13.8%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 14.0%減）が10か月連続、貸家（同 11.0%減）が2か月連続、分譲住宅（同 18.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数（戸）	1,713	1,672	1,621	1,712	2,028	1,575	1,412	1,452
前年同月比（%）	0.4	5.4	▲ 7.3	▲ 7.6	17.2	0.6	▲ 14.0	▲ 13.8
うち持家（%）	▲ 7.8	▲ 11.1	▲ 14.6	▲ 6.9	▲ 3.2	▲ 1.8	▲ 17.6	▲ 14.0
貸家（%）	▲ 12.9	17.3	13.0	▲ 27.5	63.5	24.7	▲ 24.2	▲ 11.0
分譲住宅（%）	33.5	34.5	▲ 16.6	40.1	2.2	▲ 28.4	21.7	▲ 18.5
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 11.9	3.5	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 9.4	▲ 6.8	▲ 6.3	▲ 8.5

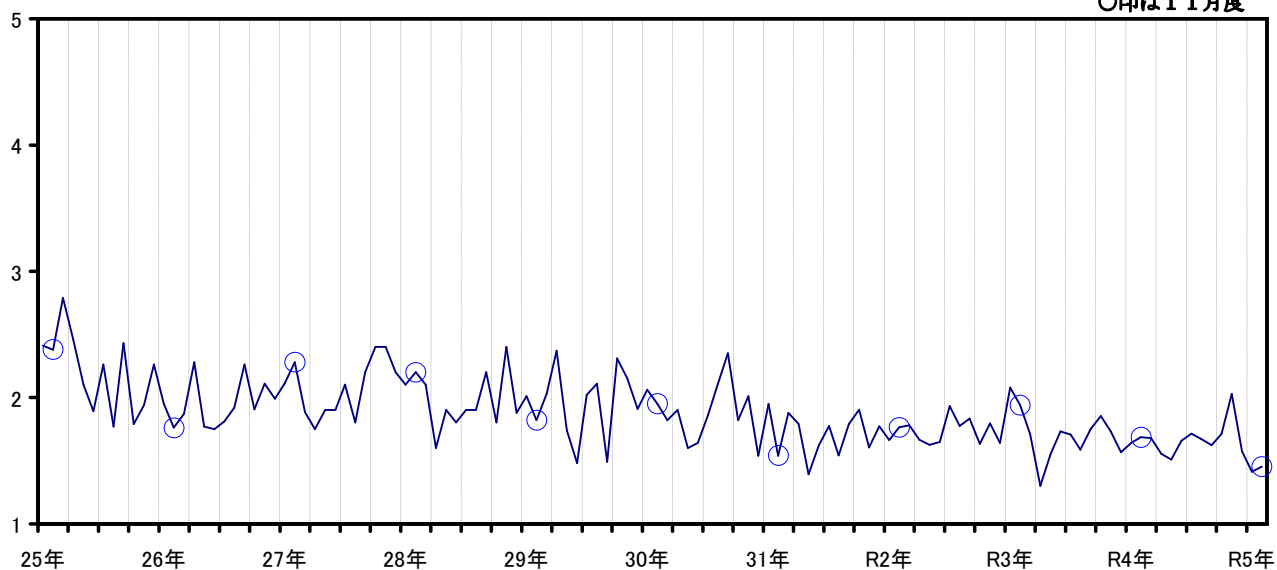
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は11月度



3 公共工事請負金額

11月 = 18,433百万円

*前年同月比：43.3%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は18,433百万円で、前年同月比43.3%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は616件で、前年同月比18.9%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	54,507	40,649	35,790	27,166	26,199	33,777	20,383	18,433
前年同月比（%）	2.2	35.5	6.8	▲10.6	▲28.9	▲6.5	▲18.0	43.3
年度累計前年同月比（%）	2.2	14.2	12.1	7.4	0.1	▲1.0	▲2.7	▲0.4
件数（件）	500	612	844	760	755	928	724	616
前年同月比（%）	▲3.7	17.2	9.8	4.1	▲6.4	▲11.1	3.0	18.9
年度累計前年同月比（%）	▲3.7	6.8	8.1	6.9	3.7	0.2	0.6	2.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

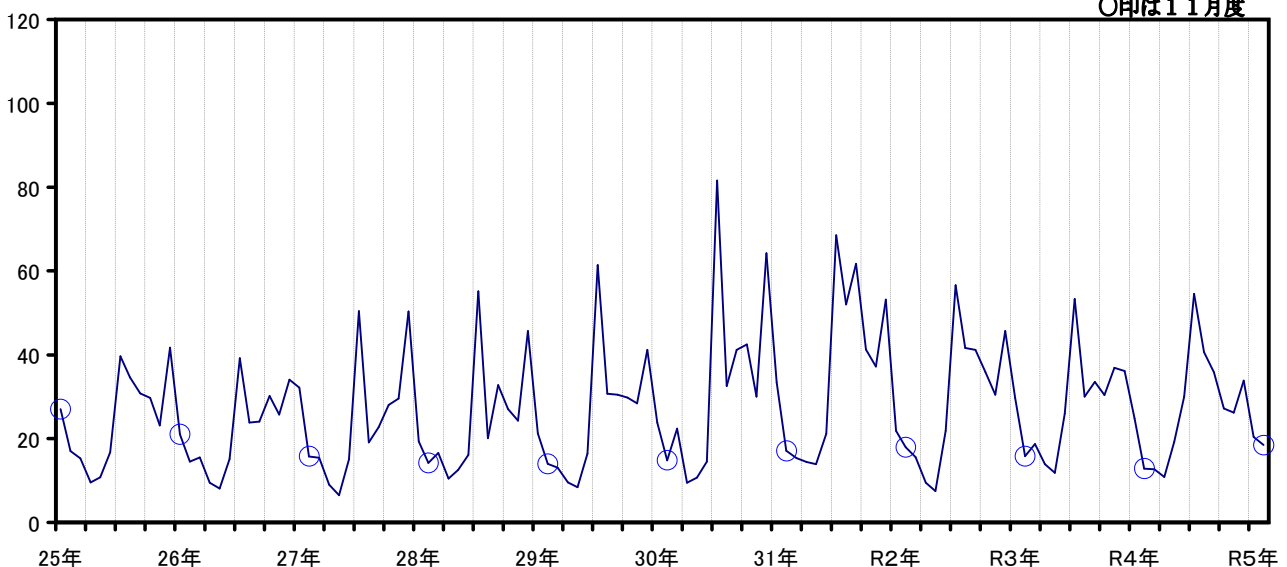
	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲35.9	11.2	▲0.5	▲76.1	7.7	11.8	▲56.5	▲5.3
独立行政法人等	30.8	33.3	▲80.8	▲34.6	▲99.5	161.4	▲99.0	▲16.4
県	0.0	49.1	15.9	34.9	▲21.3	▲20.5	6.4	37.6
市町	▲7.9	28.3	31.2	▲12.0	▲6.9	0.4	6.0	27.8
地方公社	▲92.5	-	757.4	▲67.0	▲6.9	-	-	-
その他	84.4	101.4	▲62.3	▲74.3	▲83.2	16.9	-	2,344.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店
○印は11月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 25.9%増）、非製造業（同 4.2%増）、全産業（同 16.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 16.2%増）、非製造業（同 4.3%増）、全産業（同 13.4%増）においていずれも増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は255,946㎡で、前年同月比 76.8%増となり、5か月に前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R4年度	R5年度 (計画)
全産業	県	9.1	(▲1.7) 16.1
	全国	9.2	(▲0.2) 12.8
製造業	県	19.2	(▲2.9) 25.9
	全国	9.0	(▲0.4) 14.6
非製造業	県	▲1.1	(0.1) 4.2
	全国	9.3	(0.0) 11.7

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	12.6	(▲1.4) 13.4
	全国	7.4	(▲0.6) 12.6
製造業	県	17.5	(▲1.4) 16.2
	全国	8.5	(▲0.5) 11.4
非製造業	県	▲1.0	(▲1.1) 4.3
	全国	6.2	(▲0.6) 14.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年12月調査)」

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	78,061	134,431	138,959	105,191	83,901	52,555	108,519	255,946
前年同月比（%）	▲21.8	2.7	30.3	▲57.1	▲1.5	▲33.3	▲37.1	76.8
（参考）全国前年同月比（%）	▲1.3	▲17.0	▲34.2	▲27.5	▲11.5	0.8	28.4	▲9.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年9月	R5年12月	R6年3月 (予測)
全産業	全産業	4	12	9
	製造業	▲3	7	2
	非製造業	11	15	15
（参考）全国・全産業		10	13	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年12月調査)」

5 輸出

11月 = 238,168百万円

*前年同月比： 2.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は238,168百万円で、前年同月比 2.7%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 76.0%増）が11か月連続、自動車の部分品（同 29.2%増）が5か月連続、二輪自動車類（同 20.9%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 0.3%減）が2か月連続、エアコン（同 51.1%減）が6か月連続、科学光学機器（同 8.6%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（同 6.4%増）が15か月連続で前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 6.1%減）が12か月連続、米国向け（同 6.1%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	224,715	191,860	224,383	234,264	199,106	230,788	250,121	238,168
前年同月比(%)	5.0	5.2	0.0	2.1	▲4.8	7.5	0.6	▲2.7

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	15.4	27.5	▲17.2	2.8	▲14.2	21.2	▲11.8	▲0.3
エアコン	51.4	2.8	▲18.2	▲20.6	▲12.5	▲36.6	▲43.7	▲51.1
自動車	37.7	13.0	53.0	60.0	69.4	65.9	133.3	76.0
自動車の部分品	▲9.9	8.0	▲10.7	36.1	18.2	49.0	39.2	29.2
二輪自動車類	7.6	23.8	29.4	▲7.6	▲36.5	▲3.8	15.0	20.9
科学光学機器	2.6	15.0	▲0.1	0.6	9.1	▲15.1	▲1.9	▲8.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲13.9	▲13.1	▲13.1	▲10.4	▲8.0	▲9.0	▲10.1	▲6.1
米国	15.8	5.9	▲7.2	▲0.1	▲15.3	11.2	▲5.2	▲6.1
EU	29.9	43.6	25.4	24.2	9.4	22.7	25.7	6.4

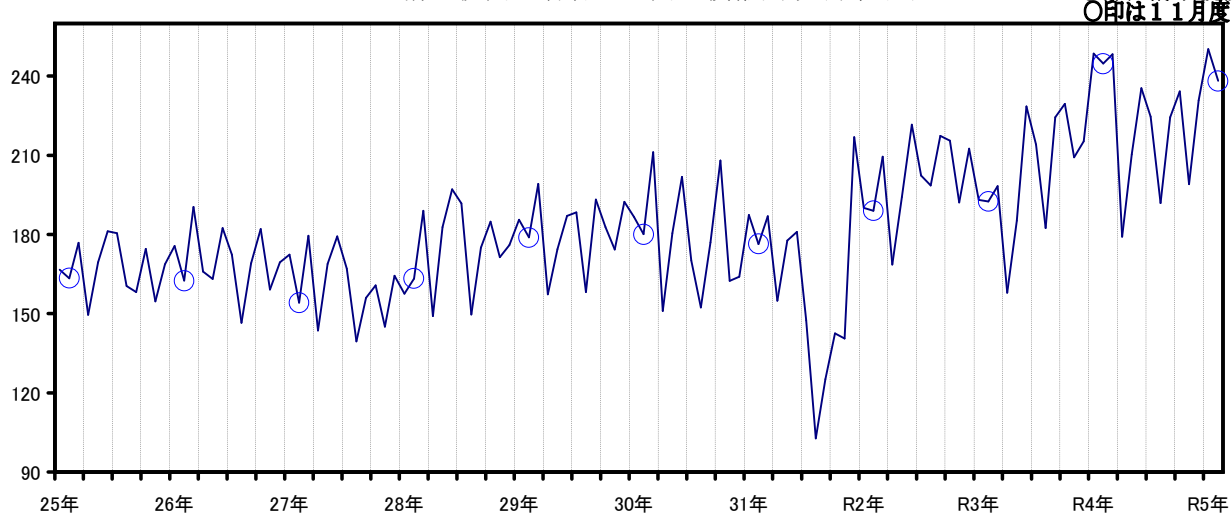
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

11月 = 122,743百万円

*前年同月比： 12.3%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は122,743百万円で、前年同月比 12.3%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 16.1%増）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 28.8%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 38.6%減）が6か月連続、木材（同 26.3%減）が12か月連続、パルプ（同 19.8%減）、原動機（同 11.0%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 2.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 8.0%減）が5か月連続、EUから（同 20.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	122,996	121,341	124,354	111,552	107,006	114,051	116,988	122,743
前年同月比(%)	▲10.4	▲0.3	▲7.7	▲7.2	▲16.5	▲14.2	▲18.1	▲12.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	▲18.4	5.7	▲27.1	▲18.7	▲16.0	▲4.8	▲29.4	▲38.6
木材	▲9.7	▲19.4	▲45.5	▲35.5	▲32.3	▲33.4	▲36.6	▲26.3
パルプ	▲34.7	16.8	▲25.0	▲41.1	▲40.9	1.3	▲48.9	▲19.8
紙類及び同製品	0.3	19.3	▲12.8	7.3	5.9	35.2	▲11.1	16.1
原動機	▲43.9	▲5.3	▲25.4	2.7	▲11.8	23.4	▲13.9	▲11.0
自動車の部分品	12.1	24.0	53.4	38.2	25.5	28.1	17.4	28.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲3.2	▲14.8	8.3	▲4.8	▲2.5	▲24.0	▲14.3	▲8.0
米国	23.0	98.1	▲22.1	18.7	13.0	▲30.6	34.3	2.2
EU	▲5.2	15.6	▲9.5	12.9	▲31.7	▲12.0	8.2	▲20.5

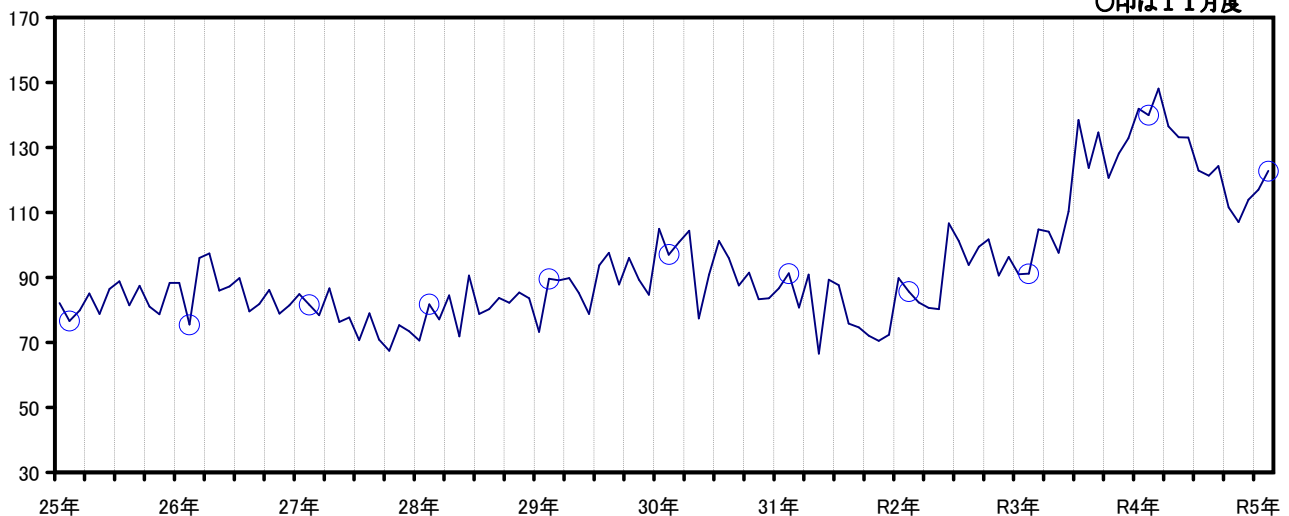
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は11月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

11月 = 93.8

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.0%減

*前年同月比(原指数) : 0.1%増

<概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は93.8(季節調整済指数)で、前月比は1.0%減と、3か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は0.1%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 11.6%減)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 1.3%減)が13か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 1.5%増)が5か月ぶり、輸送機械(同 5.2%増)が9か月連続、化学(同 1.5%増)、食料品・たばこ(同 1.0%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	94.8	95.5	93.1	90.8	90.2	92.9	94.7	93.8
前月比(%)	0.5	0.7	▲2.5	▲2.5	▲0.7	3.0	1.9	▲1.0
前年同月比(%)	2.0	13.6	▲0.6	▲3.7	▲6.1	▲5.4	1.9	0.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	4.2	0.0	▲2.3	▲4.4	▲4.4	1.1	▲1.4

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鉱工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	7.1	26.6	▲11.2	8.4	▲19.2	▲7.1	▲11.1	▲11.6
電気機械工業	6.6	46.2	10.1	▲17.9	▲19.9	▲33.2	▲7.1	1.5
輸送機械工業	5.9	16.1	6.1	0.8	3.5	4.9	14.3	5.2
化学工業	▲1.9	2.9	0.9	▲2.1	0.9	▲2.0	1.3	1.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.5	▲6.5	▲5.9	▲6.3	▲4.4	▲5.5	▲4.4	▲1.3
食料品・たばこ工業	▲4.6	5.8	▲7.9	▲6.2	▲6.0	▲1.6	3.7	1.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

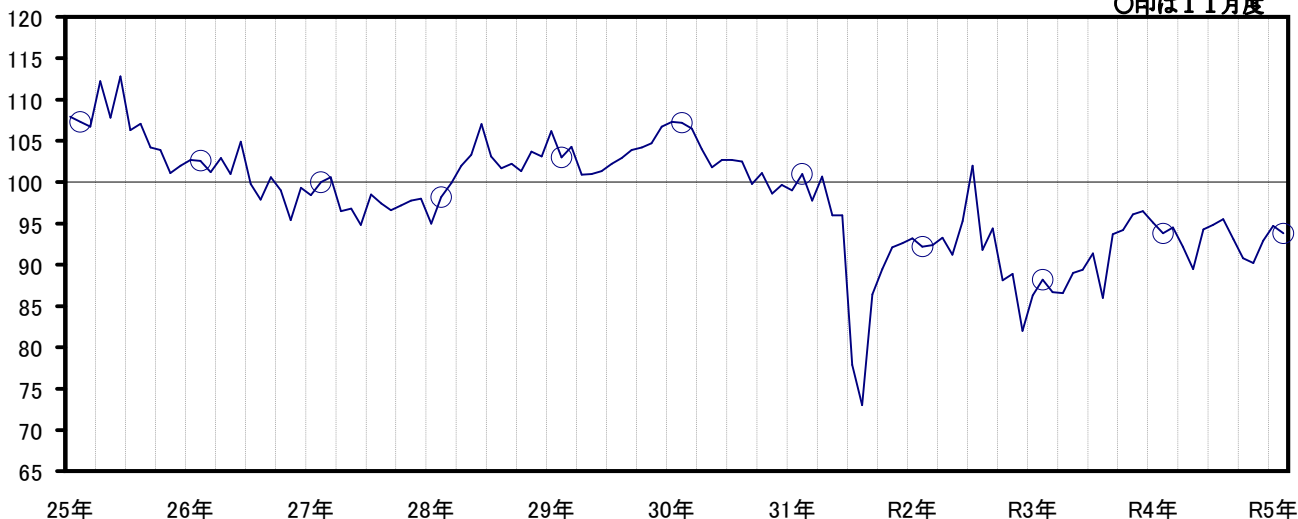
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は11月度



(2) 鋳工業在庫指数

11月 = 105.5

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.7%増

*前年同月比(原指数) : 3.4%減

<概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は105.5(季節調整済指数)で、前月比は1.7%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は3.4%減と、2か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比14.5%増)が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.9%増)が6か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同4.2%減)が4か月連続、輸送機械(同10.3%減)が5か月連続、化学(同20.7%減)が13か月連続、食料品・たばこ(同1.3%減)が3か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	111.3	108.2	109.1	104.7	106.6	111.1	103.7	105.5
前月比(%)	7.8	▲2.8	0.8	▲4.0	1.8	4.2	▲6.7	1.7
前年同月比(%)	4.3	1.0	3.6	▲3.3	▲2.2	2.1	▲5.0	▲3.4
(参考)全国前年同月比(%)	6.0	7.3	5.9	5.7	3.2	0.2	1.0	1.0

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数
ただし、全国鋳工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	15.1	23.5	12.8	22.2	19.5	21.4	17.8	14.5
電気機械工業	10.1	15.7	13.6	11.0	▲1.8	▲10.7	▲13.1	▲4.2
輸送機械工業	11.8	22.6	12.6	▲26.2	▲6.5	▲5.2	▲16.6	▲10.3
化学工業	▲3.7	▲18.8	▲2.1	▲0.4	▲6.8	▲4.2	▲25.4	▲20.7
パルプ・紙・紙加工品工業	7.0	2.8	▲0.1	▲2.5	0.0	▲0.8	▲0.6	1.9
食料品・たばこ工業	24.0	5.4	9.7	▲16.0	▲3.7	18.4	13.8	▲1.3

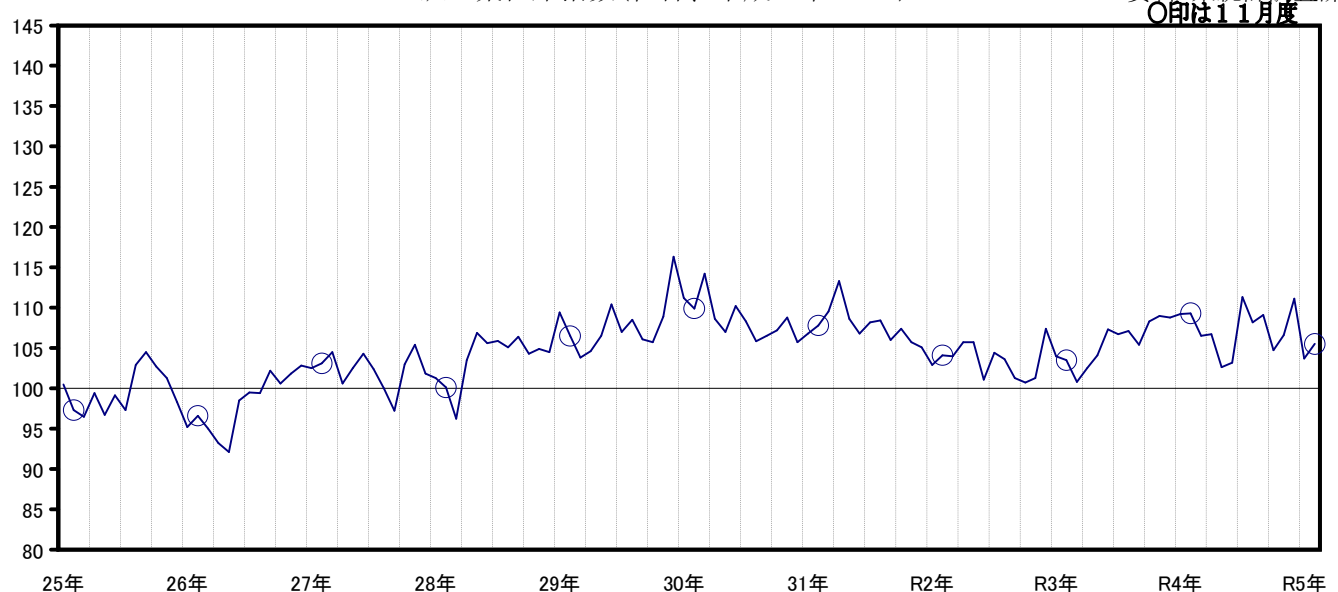
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.21倍

*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

11月の有効求人倍率 (季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む) は1.21倍となり、前月を0.01ポイント上回った。34か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.07ポイント下回った。新規求人 (学卒、パートタイムを除く) (前年同月比 4.5%減) は6か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業 (前年同月比 3.5%増) が2か月連続、医療・福祉 (同 2.9%増) が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業 (同 1.0%減)、サービス業 (他に分類されないもの) (同 4.2%減) がいずれも2か月連続、製造業 (同 10.5%減) が13か月連続、運輸業・郵便業 (同 2.2%減)、卸売業・小売業 (同 2.1%減) がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位: 倍)

	R 5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.24	1.26	1.26	1.22	1.20	1.19	1.20	1.21
全 国	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29	1.30	1.28

(注) 季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 5年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	▲ 7.3	▲ 7.2	▲ 3.2	▲ 10.9	▲ 3.0	2.8	▲ 16.5	▲ 1.0
製造業	▲ 1.1	▲ 7.3	▲ 16.8	▲ 9.6	▲ 15.8	▲ 12.4	▲ 14.7	▲ 10.5
情報通信業	▲ 13.6	26.6	▲ 22.6	7.0	15.9	▲ 13.8	23.3	3.5
運輸業・郵便業	17.8	6.1	▲ 9.5	▲ 1.3	▲ 4.5	▲ 2.5	1.0	▲ 2.2
卸売業・小売業	34.6	12.0	▲ 2.2	40.0	▲ 4.4	▲ 13.6	67.3	▲ 2.1
医療・福祉	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 0.6	3.7	▲ 2.5	▲ 10.5	▲ 4.6	2.9
サービス業 (他に分類されないもの)	▲ 5.1	7.8	6.7	▲ 12.3	12.2	4.1	▲ 12.6	▲ 4.2
合 計	1.6	1.4	▲ 4.9	▲ 1.0	▲ 3.9	▲ 7.9	▲ 0.1	▲ 4.5

(注) 学卒、パートタイムを除く

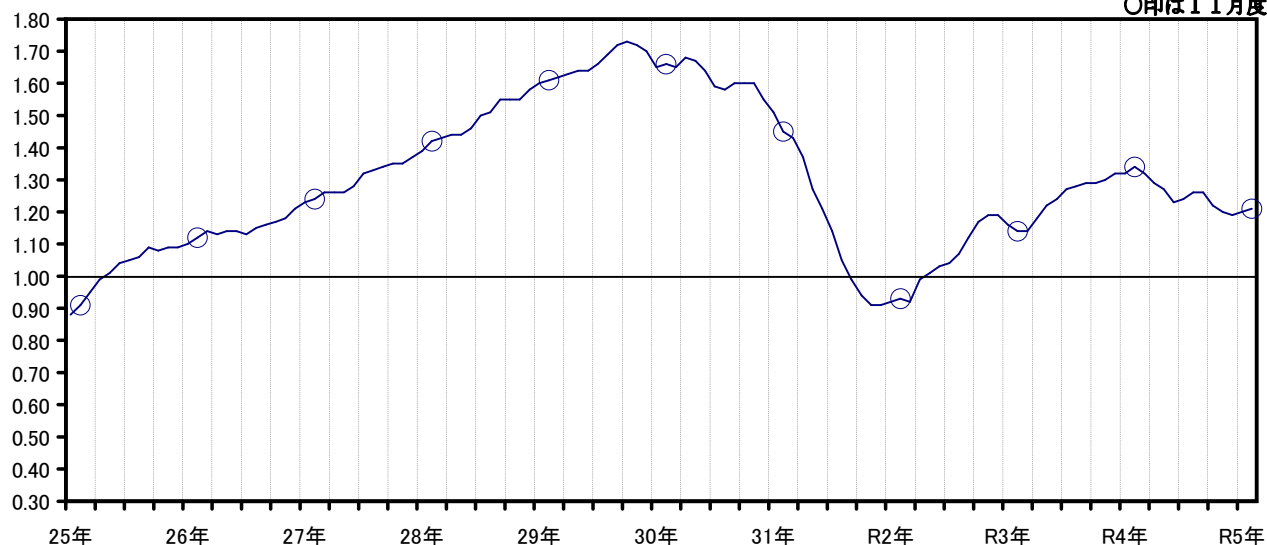
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率 (学卒を除き、パートタイムを含む) (倍)

<資料>厚生労働省

○印は11月度



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 12,014人

*前月比: 6.2%減

*前年同月比: 11.0%増

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は12,014人で、前月比は6.2%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は11.0%増と8か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%と前月と同水準であった。

静岡県(令和5年7~9月)の完全失業率は2.1%で、前期(令和5年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	10,038	10,836	12,069	12,704	13,329	12,705	12,813	12,014
前月比(%)	▲2.6	7.9	11.4	5.3	4.9	▲4.7	0.9	▲6.2
前年同月比(%)	0.3	4.4	5.0	6.3	6.1	6.0	13.8	11.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	6.9	3.1	6.0	3.4	2.6	7.9	6.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.6	2.5	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5

(注)季節調整値

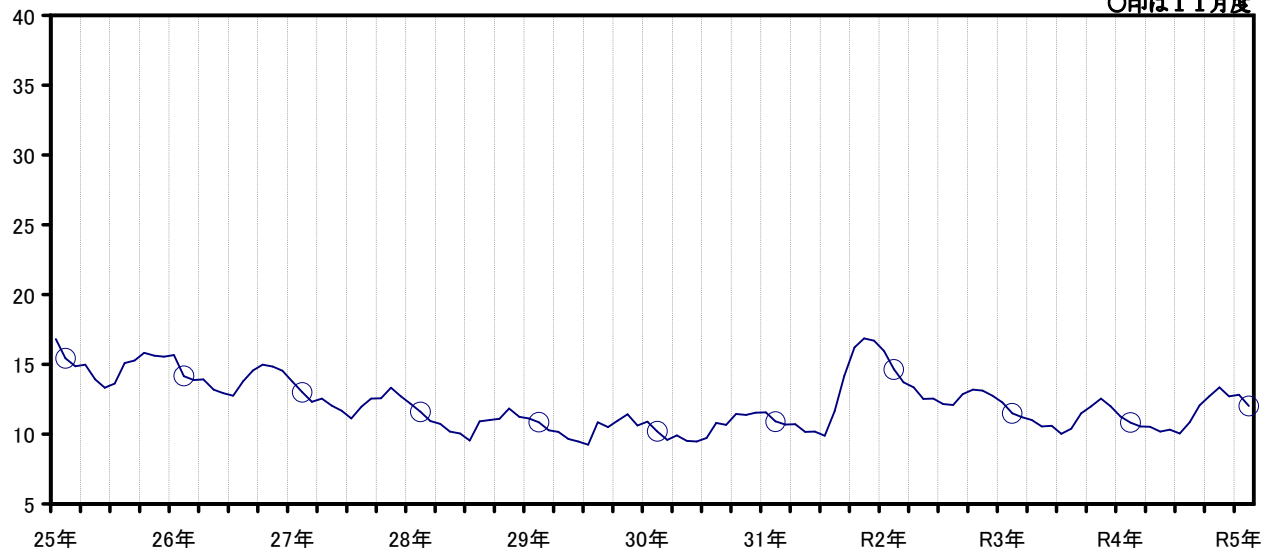
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は11月度



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 125.6

*前月比(季節調整済指数): 0.7%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 3.2%増

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は125.6(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は3.2%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比17.6%減)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同22.1%減)、その他のサービス業(同17.4%減)がいずれも10か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同1.9%増)、情報通信業(同10.4%増)がいずれも3か月連続、運輸業・郵便業(同8.0%増)が7か月連続、医療・福祉(同4.2%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	115.5	117.8	122.9	127.1	119.6	116.6	124.7	125.6
前月比(%)	0.3	2.0	4.3	3.4	▲5.9	▲2.5	6.9	0.7
前年同月比(%)	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲2.3	0.0	▲1.6	▲0.8	▲0.9	▲1.7	▲0.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲1.2	7.9	▲7.8	37.8	18.7	▲14.6	19.9	▲17.6
製造業	▲3.8	2.7	3.9	10.5	0.0	2.2	0.7	1.9
情報通信業	10.0	▲8.2	▲4.6	16.6	▲17.1	17.5	10.4	10.4
運輸業・郵便業	▲4.1	9.1	3.5	4.6	7.3	7.4	2.3	8.0
卸売業・小売業	▲5.6	▲7.1	▲35.9	▲25.6	▲23.2	▲32.6	▲23.2	▲22.1
医療・福祉	5.8	▲5.2	0.0	10.8	4.3	1.4	8.1	4.2
その他のサービス業	▲4.0	▲12.9	▲20.5	▲19.7	▲15.2	▲7.7	▲12.7	▲17.4
調査産業計	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0	4.1	3.2

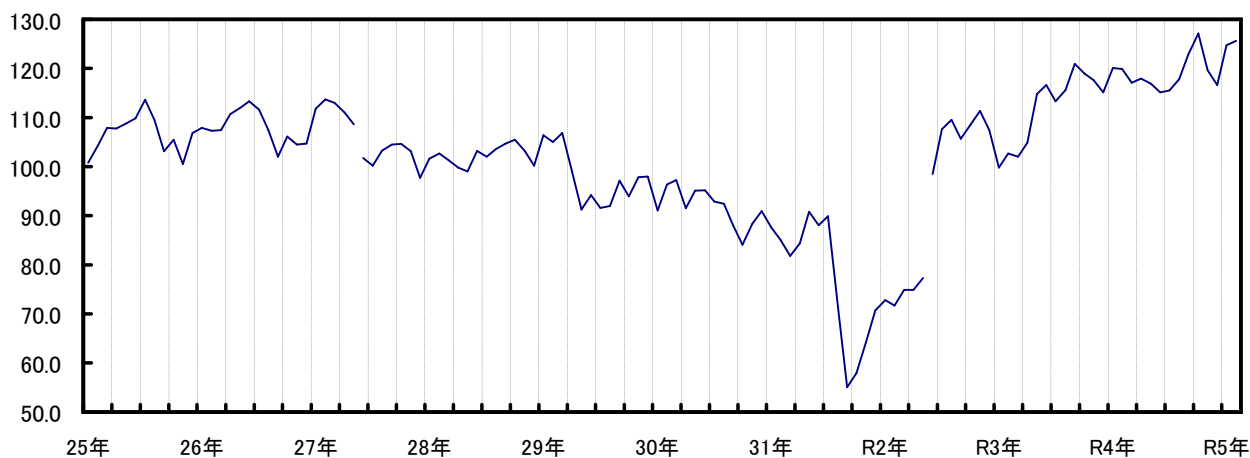
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 119.9

*前月比: 0.3%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比: 0.0%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は119.9となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年と同水準となった。

	R5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	119.3	119.2	119.5	119.8	119.6	119.3	119.6	119.9
前月比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.1	0.3	0.3	▲ 0.2	▲ 0.3	0.3	0.3
前年同月比 (%)	5.1	4.1	3.6	3.4	2.2	0.9	0.3	0.0

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 142,268億円

*前月比: 0.2%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.6%減

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,268億円で、前月比とは0.2%の増加となった。また、前年同月比は0.6%の減少となった。

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	143,583	142,867	142,709	142,257	142,029	142,841	142,035	142,268
前月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	0.6	▲ 0.6	0.2
前年同月比 (%)	1.0	0.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

11月 = 1.260%

*前月差: 0.005ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.048ポイント減

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.260%で、前月から0.005ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.048ポイントのマイナスとなった。

	R5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	1.291	1.286	1.279	1.272	1.269	1.266	1.265	1.260
前月差(ポイント)	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.005
前年同月差(ポイント)	▲ 0.058	▲ 0.058	▲ 0.055	▲ 0.057	▲ 0.053	▲ 0.053	▲ 0.051	▲ 0.048

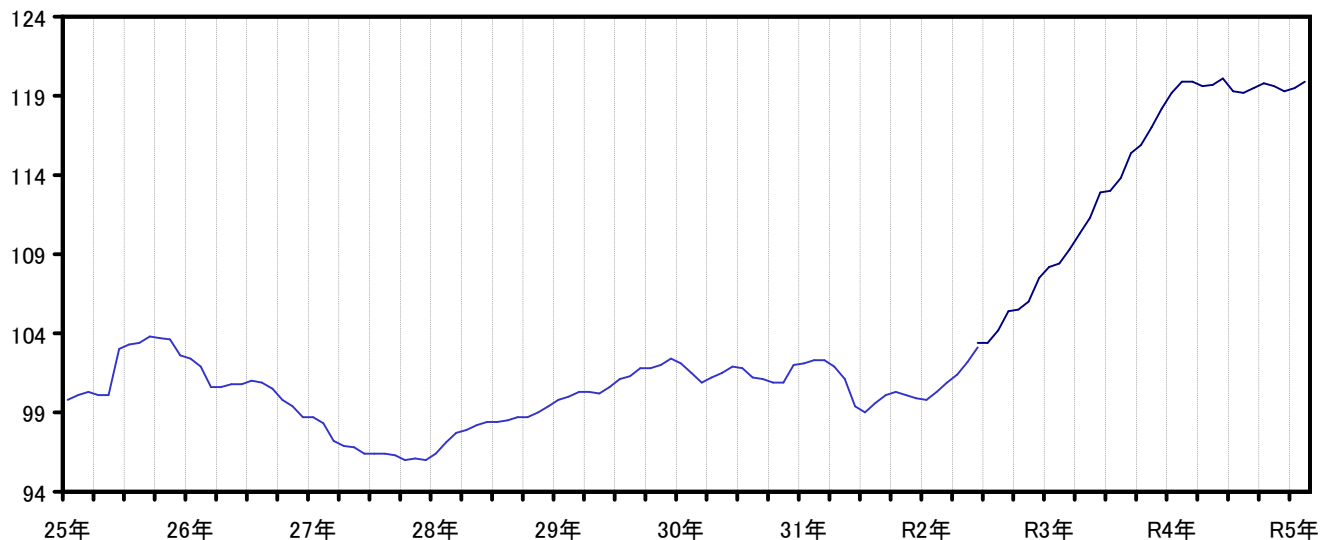
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

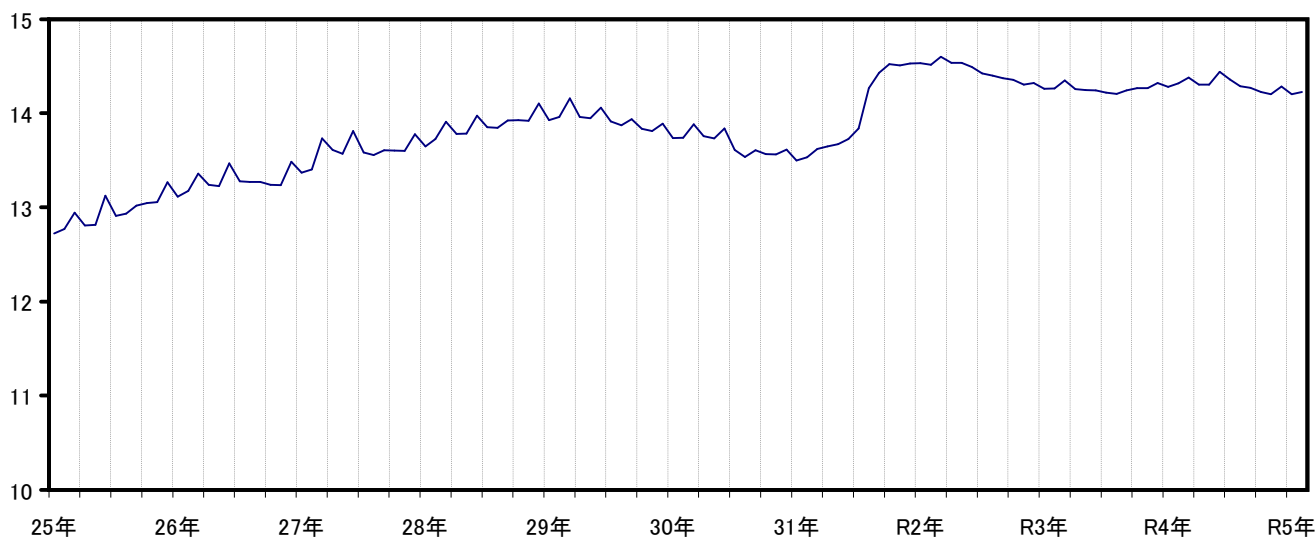
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



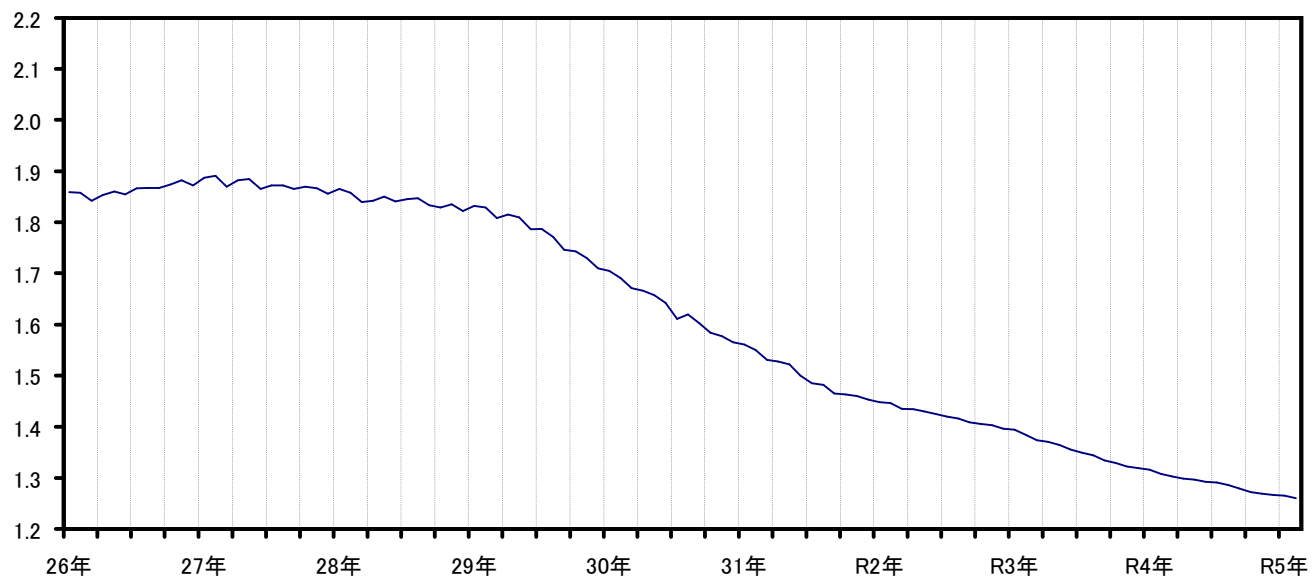
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**11月 = 25,577百万円**

*前年同月比： 6.9%増

<概況>

11月の保証承諾は、金額は25,577百万円（前年同月比 6.9%増）と前年実績を上回り、件数は1,763件（同 3.7%減）と前年実績を下回った。

	R 5年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	15,395	22,849	28,390	25,377	26,616	23,777	22,088	25,577
前年同月比（%）	▲ 52.5	▲ 33.7	▲ 15.3	8.2	4.7	▲ 11.1	24.0	6.9
保証件数（件）	1,302	1,637	2,066	1,881	1,971	1,860	1,670	1,763
前年同月比（%）	▲ 23.2	▲ 13.8	1.8	8.1	0.6	▲ 13.2	10.6	▲ 3.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 144.07円/ドル**

*前月差： 5.76円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 9.14円安

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は144.07円で、前月と比べて5.76円の円高となり、8か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R 5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	137.37	141.19	141.21	144.77	147.67	149.53	149.83	144.07
前月差（円）	4.04	3.82	0.02	3.56	2.90	1.86	0.30	▲ 5.76
前年同月差（円）	8.59	7.33	4.58	9.53	4.53	2.52	7.39	9.14

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 19件**

*前年同月比： 5.5%増

<概況>

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比 5.5%増）と前年実績を上回り、負債総額は2,062百万円（同 26.6%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の73.7%を占め、17か月連続で50%以上となっている。

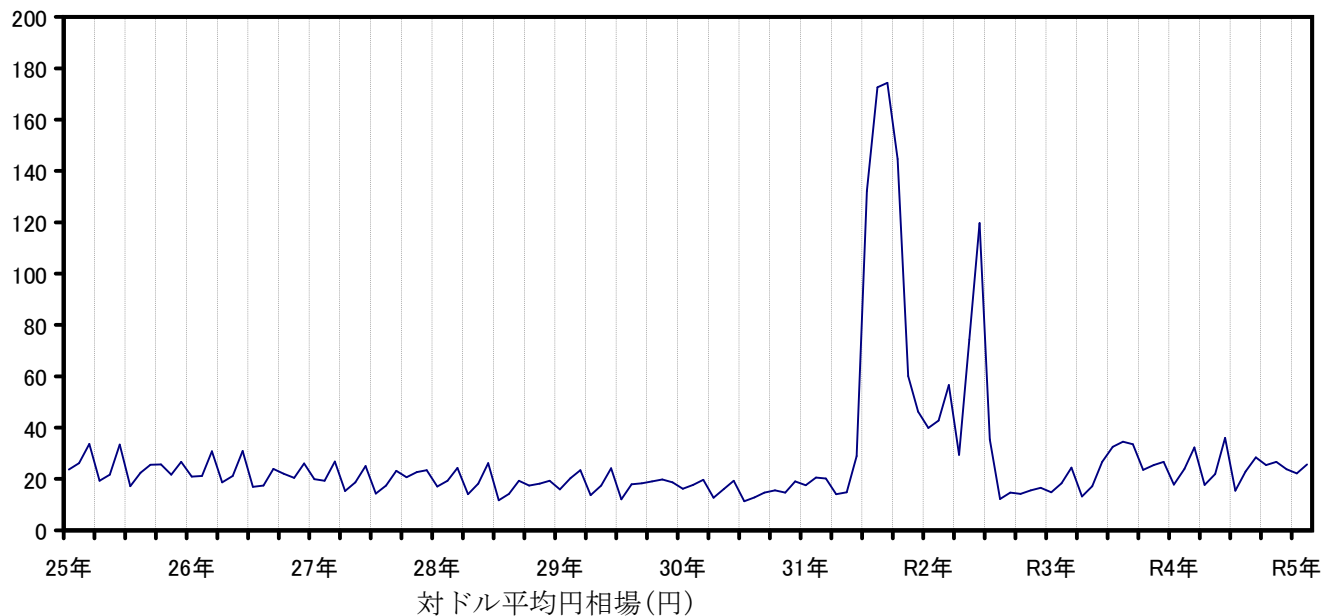
	R 5年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	17	15	24	15	31	17	19	19
前年同月比（%）	▲ 5.5	0.0	380.0	66.6	93.7	▲ 22.7	35.7	5.5
うち不況型倒産件数（件）	11	13	19	13	25	13	17	14
負債総額（百万円）	3,470	1,630	19,697	2,247	1,666	6,592	2,885	2,062
前年同月比（%）	85.0	▲ 15.7	11,155.4	8.0	34.3	152.2	▲ 79.6	▲ 26.6

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

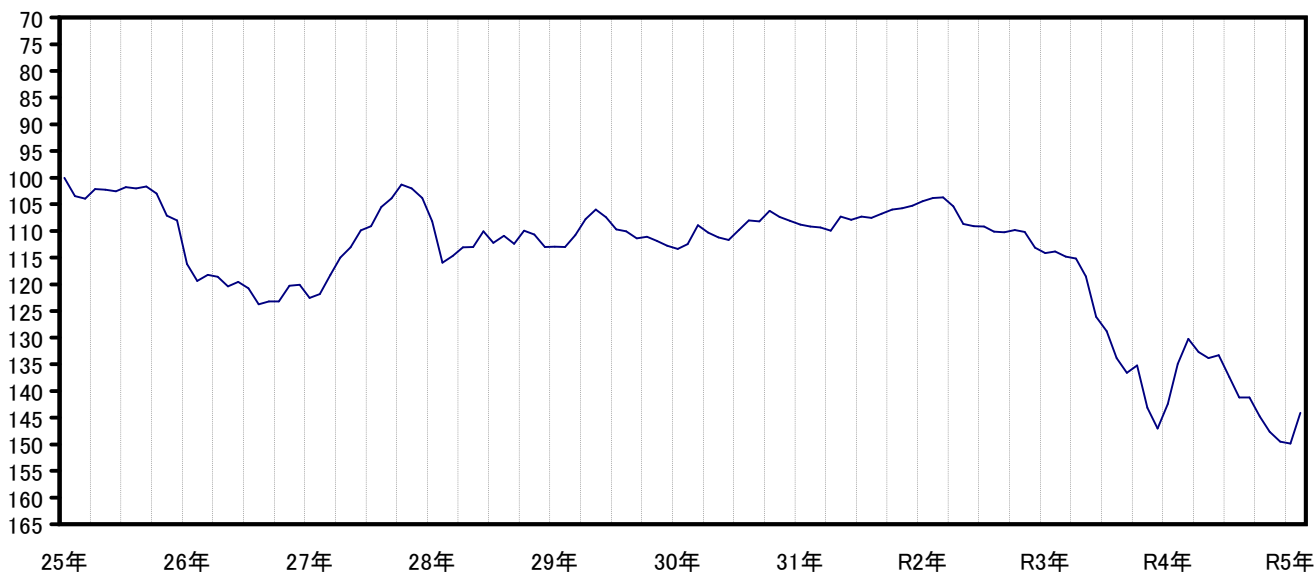
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

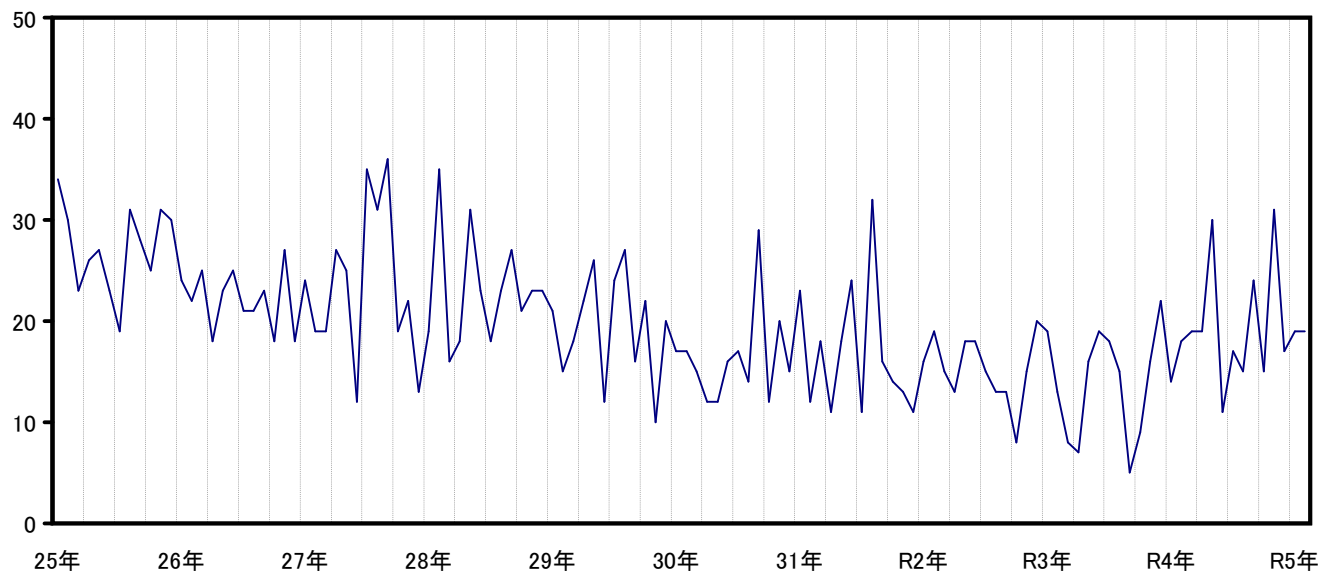


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和5年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、63,500台（前年同月比 8.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、6,960台（同 50.3%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,819台（同 0.7%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,696台（同 10.8%増）で2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、46,025台（同 1.7%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、33,366台（同 4.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、47,721台（同 12.8%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、818,358台（前年同月比 17.9%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。輸出は403,899台（同 21.7%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが5か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が10か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は323億円（前年同月比 2.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は244千台（同 5.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは485千台（同 14.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は69千台（同 9.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、468千台（同 41.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、330千台（同 43.8%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は70.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,158億9,900万円（前年同月比 13.6%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は832億300万円（同 6.0%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが336億8,600万円（同 19.2%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。内需は326億9,600万円（同 28.4%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「親会社の受注減少による売上減少で収益及び資金繰りが悪化し、8月頃から非常に苦しい状況が続いている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

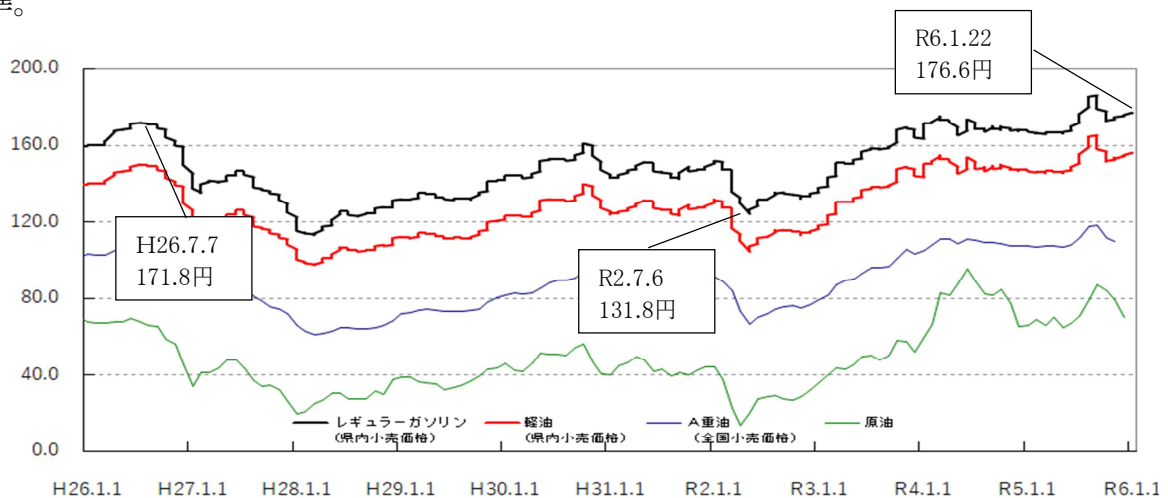
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億9,181万円（前年同月比8.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが36億4,612万円（同6.8%減）で、16か月ぶりに前年実績を下回り、国内向けが19億4,569万円（同12.7%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は3,005台（同7.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,806台（同14.0%減）、グランドピアノが1,199台（同5.0%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,154台（同22.6%減）で、5か月連続で前年実績を下回り、国内向けが922台（同24.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、1,748千ト（前年同月比7.0%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は799千ト（同11.5%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。板紙は949千ト（同2.9%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、413千ト（同13.2%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレトペーパー等の家庭紙は、156千ト（同3.8%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,023千箱（前年同月比10.2%減）と10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は723千箱（同13.0%減）と6か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は459千箱（同16.8%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は299千箱（同2.4%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,029千箱（同9.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、1,049千㎡（前年同月比16.2%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,007千㎡（同17.5%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、42千㎡（同8.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同8.3%増）で、19か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、42億6,208万円（前年同月比2.0%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、660億5,036万円（同0.1%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,605百万円（既存店前年同月比0.9%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品、飲食料品が前年実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが減少した。特に、家庭用品の売上げが不調だった。地域で大規模イベントの開催があり、来客数は増加した。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。中旬以降に気温が低下したため、季節ものの衣料品の売上げが好調だった。また、季節の新商品が販売された化粧品の売上げも良かった。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。物価高騰の影響により、販売価格は上昇したものの、販売数量は同程度であった。特に、弁当・総菜の売上げが好調だった。</p> <p>（資料）関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約46万人で、前年同月比13.9%増となった。</p> <p>本年の11月は、大河ドラマ「どうする家康」関連施設への入込が増加したことが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約62万台となり、前年同月比2.0%増となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー176.6円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	27,553	23,018	23,336	28,877	16,417	18,694	27,567	28,264	28,959
前年同月比(%)	▲1.6	▲0.7	36.8	8.1	▲37.6	▲30.0	▲7.4	▲1.6	▲3.7
KD輸出額(百万円)	1,663	1,746	1,210	789	1,350	874	1,005	1,319	1,441
前年同月比(%)	▲14.3	▲9.6	6.8	▲11.3	36.5	▲3.5	▲16.7	▲19.2	▲11.8

<楽器>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,528	3,269	3,439	4,012	3,738	2,919	3,484	3,614	3,510
前年同月比(%)	9.1	4.6	29.0	26.3	16.6	13.0	7.0	9.4	7.1

<缶詰>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	1,023	1,008	916	982	1,021	954	962	940	1,023
前年同月比(%)	▲0.7	▲4.2	▲2.2	▲18.5	▲9.4	▲12.1	▲8.8	▲18.6	▲10.2
うち水産缶詰(%)	▲4.0	▲3.9	4.0	▲17.0	▲9.7	▲18.1	▲13.0	▲23.3	▲13.0
農畜産缶詰(%)	7.2	▲5.0	▲16.5	▲22.6	▲8.4	5.0	2.5	▲3.9	▲2.4
飲料缶生産高(千ケース)	7,467	7,837	7,674	7,495	7,353	7,092	7,151	6,618	7,029
前年同月比(%)	0.5	11.0	▲0.2	▲5.4	▲7.2	▲6.0	10.9	▲6.8	9.6

<繊維>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	708	676	644	693	676	674	801	867	1,049
前年同月比(%)	▲7.9	▲7.2	▲4.8	▲6.3	▲8.2	▲0.9	2.0	11.2	16.2
小幅織物(千㎡)	19	19	20	19	19	15	18	18	18
前年同月比(%)	12.1	10.5	15.6	11.2	23.7	12.8	16.1	13.0	8.3

<観光>

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,914	1,521	1,724	1,342	1,820	2,435	1,724	1,707	1,841
前年同月比(%)	30.9	8.3	15.4	16.5	7.2	1.2	13.1	14.3	8.0
観光施設(10施設)入込 (千人)	494	463	543	316	347	439	376	470	458
前年同月比(%)	20.1	7.1	▲0.9	19.1	19.9	▲8.8	24.6	6.4	13.9
有料道路(4路線)通行 量(千台)	644	560	607	523	626	693	584	604	621
前年同月比(%)	3.4	2.0	▲2.9	▲3.9	2.8	▲1.7	4.0	▲1.4	2.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和6年1月号 通巻573号

発行 静岡県経済産業部
令和6年1月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>